



第9回 アスリート委員会

2018年1月29日

- 資料 1 アスリート委員会が関係する大会エンゲージメント活動について
- 資料 2 アスリート委員会が関係する大会準備活動について
- 資料 3 観客の経験について
- 資料 4 東京2020参画プログラムの現状
- 資料 5 東京2020大会の準備状況

アスリート委員会が関係する 大会エンゲージメント活動について



アスリート委員会が関係する大会エンゲージメント活動について

前回アスリート委員会以降の主な活動実績

「KWN Global Summit 2017 ボッチャプログラム」

- 組織委員会とアスリート委員会は、委員会とパナソニック社とでKWN Global Summit 2017一環として、海外より招待された学生達を対象にアスリート3人によるボッチャゲームとトークセッションを行った。
- 一般財団法人日本ボッチャ協会が協力の元、3名のアスリートと学生達が「スポーツ通じてチームワークを深め、自己ベストを目指し、チーム一丸となって枠を超えて挑戦する」目標共有した。

実施日程：2017年08月02日（水）

実施場所：パナソニック東京センター1F

アスリート委員会：河合副委員長、関根委員 / 特別ゲストIPCデュアン理事



豊洲ユニバーサルフェスタ — みんなのチャレンジ！ —



●組織委員会と東京ガスは、1000日前イベントの一環としてアスリート委員会によるトークショーの他、子どもたちとパラリンピック競技やパートナー企業のユニバーサルな取組みを体験し、子どもたちがインタビューと新聞作成を行う「子ども記者体験」を東京ガスと協働で実施した。

●
実施日程：2017年10月28日（土）

実施場所：東京ガス豊洲がすてなーに 特設会場他

アスリート委員会：河合副委員長、不老委員、池田委員、齋藤委員、関根委員



<UF&iEXPO2017>オリンピック・パラリンピック特設ブース 東京2020大会 1000Days to Go!「さあ、集まろうぜ。」



- アスリート委員会と日本電気株式会社（NEC）は、1000日前イベントの一環として、NEC展示会にて河合副委員長の金メダルを持参したトークショーと上山委員のトランポリンデモやステージ上では東京2020参画プログラムなどの説明などを行った。

実施日程：2017年11月9～10日（木、金）

実施場所：東京国際フォーラム B1F 特設会場

アスリート委員会：河合副委員長、上山委員



1000日前だ。キャンペーン 「さあ、スポーツで集まろうぜ。11/24」

- アスリート委員会と日本電気株式会社（N E C）は、同社事業所内において、合同でランニングイベントを行った。
- 今後もN E C内では、継続的にランニングイベントが実施される予定であり、社員がよりスポーツに親しむ機会の創出が期待される（レガシー）。
- なお、本イベントは企画段階からアスリート委員が関わっており、委員のアイデアや委員会の目指すレガシーが反映されたものとなっている。

実施日程：2017年11月24日（金）

実施場所：N E C 玉川事業所

アスリート委員会：高橋委員長、田口委員





アスリート委員会が関係する大会エンゲージメント活動について

今後の主な活動予定

オリンピック・パラリンピアンによる 講演＆パラスポーツ体験（予定）



- 不老安正委員と日本電気株式会社（NEC）が企画する、福岡で開催するイベント。
- 福岡にゆかりのあるトップアスリートも参加して、パートナー企業とパラリンピックスポーツに触れて、楽しみながら競技の理解を深めて、福岡の地で機運醸成盛り上げていく。

協力予定：パートナー企業各社、アスリート委員会

実施日程：2018年2月23日（金）

実施場所：福岡（NEC九州システムセンター）

参加委員：河合副委員長、不老委員、齋藤委員、上山委員



アスリート・スペシャル・トークセッション2018 「違いを乗り越えて一つに」



- 昨年・一昨年に引き続き、アスリート委員会では、一般財団法人東京マラソン財団の協力を得て、東京マラソン2018前日祭において、ステージイベントを開催する予定。
- ステージでは、東京大会の競技紹介やクイズ大会などを行う予定。
- その他、出場ランナーや応援者とともに東京マラソンウィークパレードに参加し、東京マラソンを盛り上げていく。

実施日程：2018年2月24日(土)

実施場所：丸ビル 1F マルキューブ

参加委員：河合副委員長、田口委員



やまなし大運動会2018

- 萩原智子委員が企画した、地元山梨で開催するイベント。
- 山梨にゆかりのあるトップアスリートが考案したオリジナル競技の大運動会。あわせて、アスリートが講師となり、ラグビー・陸上・サッカー・バレー・水泳の基本が分かるスポーツクリニックも開催する。

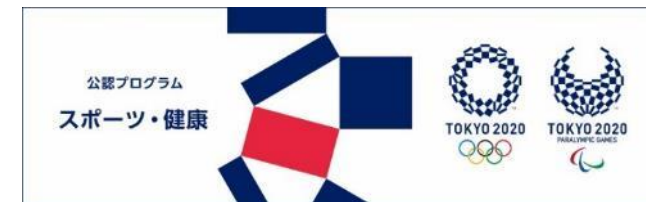
主催：山梨トヨペット株式会社

協力：アシックスジャパン株式会社、組織委員会

実施日程：2018年3月24日(土)

実施場所：緑が丘スポーツ公園(山梨県甲府市)

参加委員：萩原(智)委員



やまなし大運動会 2018

第1部 やまなし大運動会
山梨にゆかりのあるトップアスリート達が考案したオリジナル競技の大運動会！
チームに分かれてトップアスリート達と一緒に優勝目指してがんばろう！

第2部 スポーツクリニック
トップアスリート達が講師となり、ラグビー・陸上・サッカー・バレー・水泳の
基本が分かるスポーツクリニックも開催。楽しみながら体の使い方を学びましょう！

講 師

ラグビー	陸上	サッカー	バレーボール	水泳
ラグビー日本代表 有賀 剛先生	シドニー・アデレード・ロンドン・パリ オリンピック陸上日本代表 鈴木 徹先生	元ヴァンフォーレ甲府選手 須藤 大輔先生	アデレード・オリンピック バレーボール日本代表 辻 知恵先生	シドニー・アデレード オリンピック水泳 萩原 智子先生

日時 2018年3月24日(土) 8:00~15:00
会場 緑が丘スポーツ公園(大体育館・小体育館・室内プール)
(山梨県甲府市緑が丘2-8-1)
対象 小学5年生~6年生 定員150名
持ち物 お弁当、飲み物、運動がてきる格好、室内用運動靴(体育館履き)、スポーツタオル
水泳を希望される方は水着・ゴーグル・キャップ

参加無料

申込 ①FAX 郵便の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてご応募ください。
②メール undokai@sannichi-ybs.co.jpに必要事項をご記入の上、ご応募ください。
③山梨県甲府市、受付をいたします。お申し込みください。

山梨トヨペット株式会社
山梨県甲府市
山梨トヨペット株式会社
山梨県甲府市
山梨トヨペット株式会社
山梨県甲府市



アスリート委員会が関係する大会エンゲージメント活動について

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーについて

東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー 全国展開について

東京都内及び被災地での展開を終え、2017年7月から競技開催都市を皮切りに、フラッグツアーを全国の道府県にて実施中

※主催：東京2020組織委員会・東京都・JOC・JPC



フラッグ歓迎イベント

オリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグをフラッグツアーアンバサダーから自治体代表者が引継ぐイベント



道府県内巡回フラッグ展示

フラッグと説明パネル等の展示セットを道府県内の公共施設等で巡回展示



小中学校訪問イベント

オリンピック、パラリンピアン等が教師役となり自身の経験を通して子どもたちに「オリンピック・パラリンピックの価値」を伝えるイベント



小中学校訪問イベント

【小中学校訪問イベントとは】

- ・各道府県が道府県内の小中学校から 1 校を選定
- ・学校の授業カリキュラムや時間割に合わせて実施
- ・**東京2020組織委員会が主体となって実施**

【小中学校訪問イベントの構成】

①フラッグ引継ぎ セレモニー・講演

フラッグ引継ぎセレモニー
講演／質疑応答
集合写真



②給食

アスリートと児童・生徒
と一緒に昼食を食べ、
交流を図る。



③実技

アスリートと一緒に実
技で交流し、スポーツ
の魅力に触れます。



アスリート委員の実施事例①

- ・ 宮城県石巻市立貞山小学校
- ・ アスリート：関根 明子 委員
- ・ 実施日：2017年3月6日

※東日本大震災被災地の宮城県 石巻市で実施



アスリート委員の実施事例②

- ・ 熊本県熊本市立帯山中学校
- ・ アスリート：齋藤 里香 委員
- ・ 実施日：2017年5月31日

※熊本地震被災地の熊本県 熊本市で実施



アスリート委員の実施事例③

- ・ 千葉県一宮町立
一宮中学校・東浪小学校・一宮小学校・一宮商業高校
- ・ アスリート：大畑 大介 委員
- ・ 実施日：2017年9月5日



アスリート委員の実施事例④

- ・ 岩手県遠野市立遠野東中学校
- ・ アスリート：萩原 美樹子 委員
- ・ 実施日：2017年2月28日

※東日本大震災被災地の
岩手県 遠野市で実施



- ・ 静岡県伊豆市立修善寺南小学校
- ・ アスリート：松永 共広 委員
- ・ 実施日：2017年9月8日



事業と連携した実施事例①

- ・ 長野県松川町立松川北小学校
- ・ アスリート：伊藤 華英 氏
- ・ 実施日：2018年1月19日



マスコット公開投票授業を実施

- ・ 鹿児島県鹿児島市立谷山小学校
- ・ アスリート：迫田 さおり 氏
- ・ 実施日：2017年10月31日



1000日前イベントとの連携

事業と連携した実施事例②

- ・ 秋田県横手市立横手南中学校
- ・ 実施日：2017年10月26日



教育認証校の登録・表彰

- ・ JOCオリンピックデーラン& JOCオリンピック教室との連携
- ・ 実施日：2017年8月31日
～9月 3日



※北海道 士別大会の様子

今後のスケジュール（予定）

	北ルート			南ルート		
	府県名	巡回期間		府県名	巡回期間	
29年度	長野県	1月14日	～ 2月8日	福岡県	1月9日	～ 2月4日
	富山県	2月9日	～ 3月5日	大分県	2月5日	～ 3月2日
	福井県	3月6日	～ 3月30日	宮崎県	3月3日	～ 3月29日
30年度				島根県	4月1日	～ 4月29日
	石川県	4月30日	～ 5月28日	愛媛県	4月30日	～ 5月28日
	栃木県	6月5日	～ 7月3日	香川県	5月29日	～ 6月26日
	京都府	7月4日	～ 8月1日	徳島県	6月27日	～ 7月25日
	奈良県	8月2日	～ 8月30日	兵庫県	7月26日	～ 8月23日
	三重県	8月31日	～ 9月28日	鳥取県	8月24日	～ 9月21日
	岐阜県	9月29日	～ 10月27日	広島県	9月30日	～ 10月28日
	愛知県	11月1日	～ 11月29日	山口県	11月1日	～ 11月29日
	群馬県	11月30日	～ 12月28日	大阪府	11月30日	～ 12月28日
	滋賀県	12月29日	～ 2月1日	岡山県	12月29日	～ 2月1日
	和歌山県	2月2日	～ 3月2日	佐賀県	2月2日	～ 3月2日
	山梨県	3月3日	～ 3月31日	高知県	3月3日	～ 3月31日

アスリート委員会が関係する 大会準備活動について



アスリート委員会が関係する大会準備活動について

ワーキンググループ 2 の活動報告について

ワーキンググループ2の活動報告について 1

1. 国立スポーツ科学センター視察

宿泊施設と飲食施設の検証

宿泊施設 VIL

- ・ 2017年7月19日（水）

飲食施設 FNB

- ・ 2017年10月30日（月）

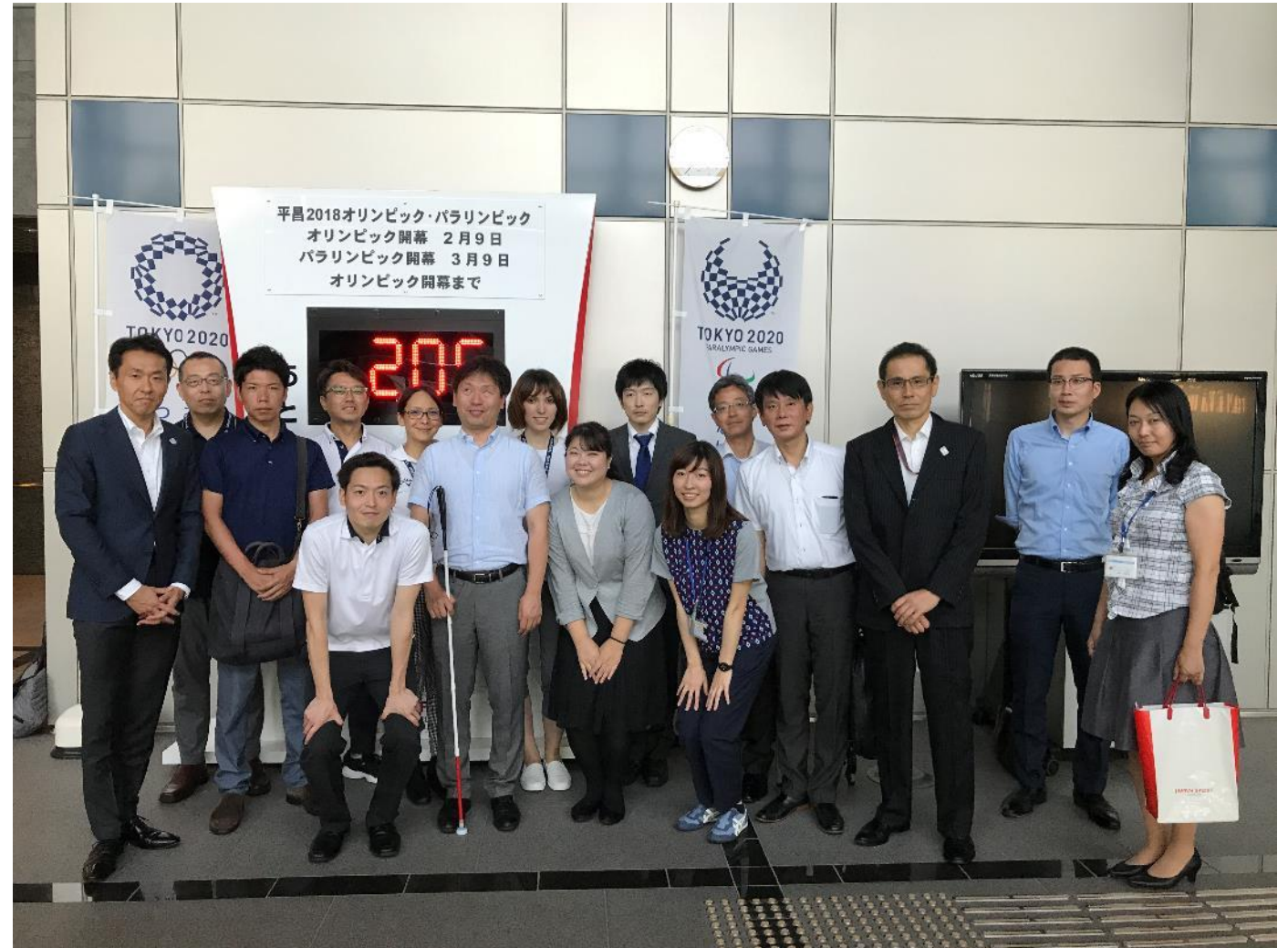
<協力アスリート>

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

<協力団体>

独立行政法人 日本スポーツ振興センター



ワーキンググループ2の活動報告について 2

2. POT (Plan One Team) 会議

サービスレベルプランニング（討議参加）

- ・ 7月27日（木） 東京2020アスリート向け
サービスに関する調査結果報告
- ・ 8月24日（木） FNB/MED/LAN
- ・ 8月31日（木） EVS/SIG/SEC/ACR/CNW
- ・ 9月14日（木） TRA/VIL/AND/LOG
- ・ 9月21日（木） TEC/TKT/ACM

<参加アスリート>

【オリンピック】

関根明子（トライアスロン：シドニー、アテネ）

高橋尚子（マラソン：シドニー）

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】



ワーキンググループ2の活動報告について 3

3. 第1回 NPC Open Days 参加＜参加NPCとの意見交換＞

各NPCとともにOpen Daysに参加
競技会場・選手村を視察

2017年8月30日（水）

NOC/NPCと同じ目線で意見が言えるように参加

＜協力アスリート＞

【オリンピック】

高倉麻子（サッカー：アトランタ）

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）



ワーキンググループ2の活動報告について 4

4. NPC Experts Review会議

NPCにおけるレビュー

2017年10月24日（火）

アスリートの意見をフィードバック

<協力アスリート>

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）



ワーキンググループ2の活動報告について 5

5. 選手輸送に関する打ち合わせ

パラアスリートのアクセシビリティについて

2017年10月27日（金）

アスリートの意見をフィードバック

TRA/PGI

<協力アスリート>

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

※NPC Open Days時 イメージピクチャ



ワーキンググループ2の活動報告について 6

6. 成田国際空港第1ターミナル検証

成田国際空港第1ターミナル視察

2017年11月13日（月）

PGI/AND/LOG/ACR/NCS

<参加アスリート>

【パラリンピアン】

高砂 進（シッティングバレーボール：北京）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

天摩由貴（ゴールボール：リオ）

初瀬勇輔（柔道：北京）

【敬称略：50音順】



ワーキンググループ2の活動報告について 7

7. 選手村の計画に関するレビュー

会場計画におけるレビューと現場視察

2017年11月20日（月）

VIL

<参加アスリート>

【オリンピック】

池田信太郎（バドミントン：北京、ロンドン）

上山容弘（トランポリン：北京、ロンドン）

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】



ワーキンググループ2の活動報告について 8

8. 今年度の活動予定

2月下旬 第4回 国立スポーツ科学センター視察 <対象：スポーツ>

3月下旬 第3回 NOC Open Days 参加 <参加NOCとの意見交換>

平成30年度の計画については、平成30年2月末までに内容検討

アスリート委員会が関係する大会準備活動について

観客の経験について

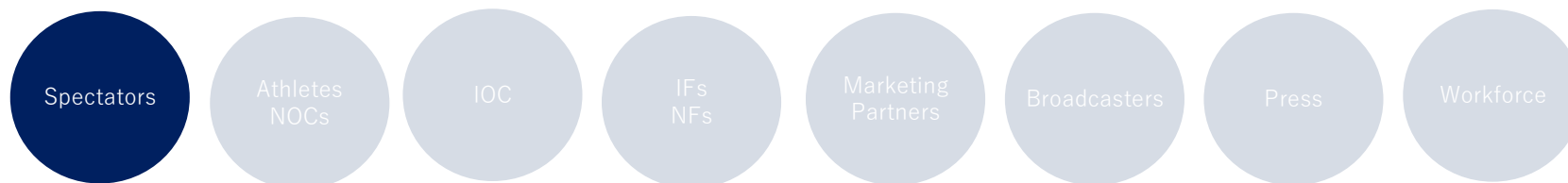
チケットの保有・非保有に関わらず東京2020 に参加する全ての人

【参考】
ロンドンを訪れた観客数：2,000万人
(ロンドン市民を除く)

大会の8つのステークホルダーの一つで最大規模のグループ

無料のロードレースやライブサイト、街のルックなどを通して

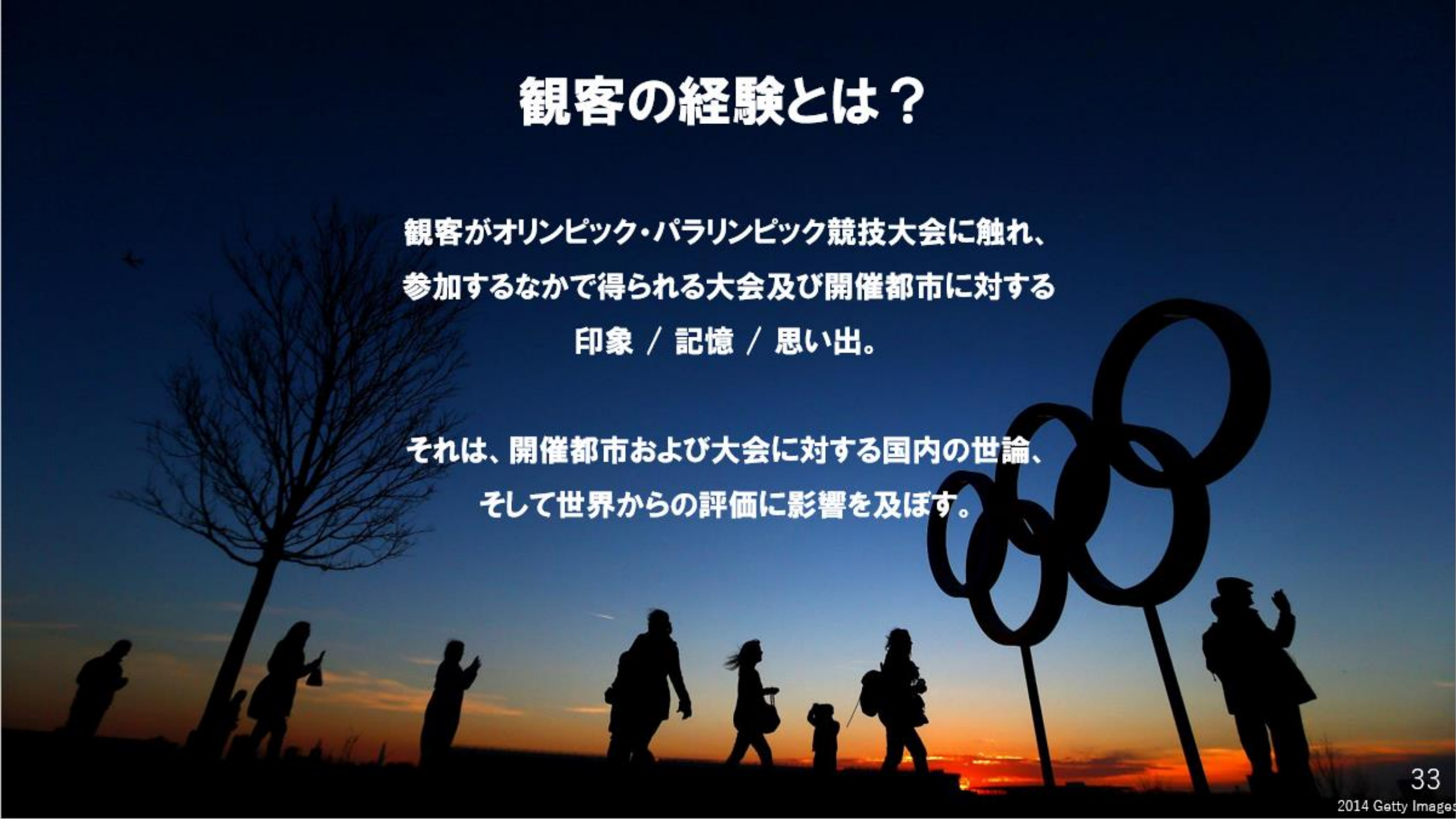
東京2020オリンピック・パラリンピック体験をするチケット非保有者も含む。



観客の経験とは？

観客がオリンピック・パラリンピック競技大会に触れ、
参加するなかで得られる大会及び開催都市に対する
印象 / 記憶 / 思い出。

それは、開催都市および大会に対する国内の世論、
そして世界からの評価に影響を及ぼす。



観客の重要性

観客はアスリートとともに、大会の雰囲気をつくり盛り上げる「責任あるプレーヤー」である



2012 Getty Images



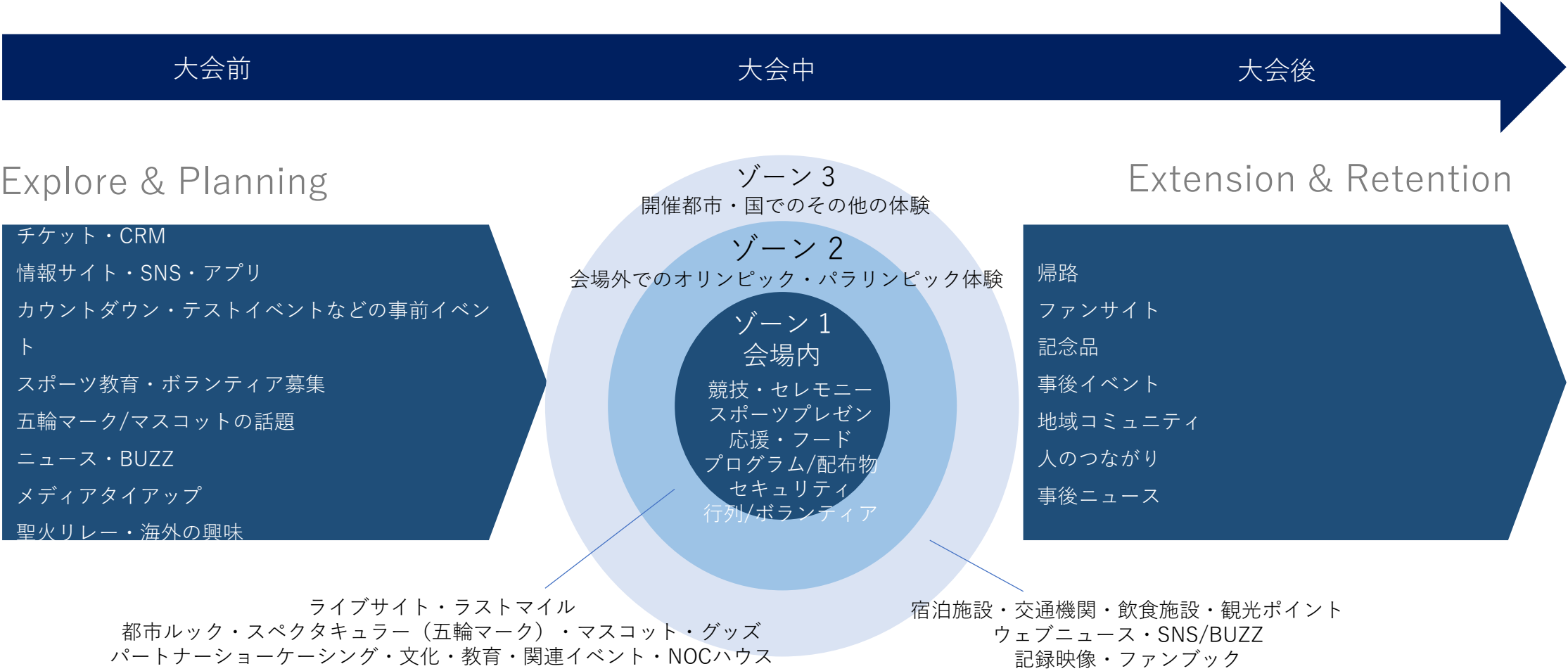
2016 Getty Imag

観客の重要性

観客はSNSや周囲への会話を通じ、物語や体験の語り手を担う「強大な広報」(最大規模の情報発信者)である



観客のジャーニー



観客のジャーニー

一般的な観客のジャーニーとタイムライン

これまで



東京2020 観客の経験ビジョン

日本らしい伝統と革新、
気配りと創意工夫、
全員参加のエネルギー。
そのすべてに溢れた、未来への希望となる大会に！

観客の経験ビジョン

日本らしい伝統と革新、気配りと創意工夫、全員参加のエネルギー。
そのすべてに溢れた、未来への希望となる大会に！

日本の伝統や風習を感じられる

最先端の技術やカルチャーを感じられる

細やかな気遣いや気配りが、行き届いている

シームレス、スムーズでストレスがない

ダイバーシティ（子供、お年寄り、障がい者、外国人等）への配慮がある

祝祭感、非日常感や、特別な体験がある

誰でも参加、挑戦できるチャンスがある

仲間ができる、新たなコミュニケーションが生まれる

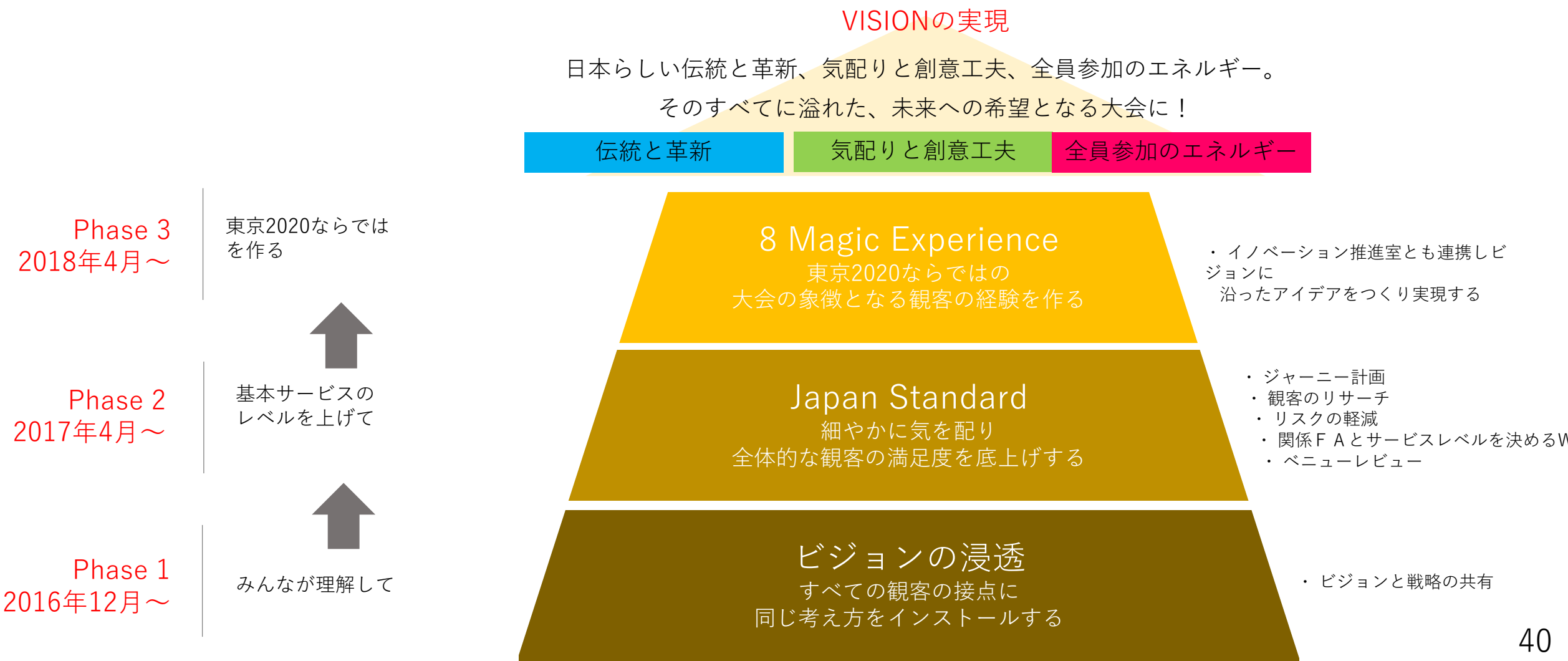
伝統と革新

気配りと創意工夫

全員参加のエネルギー

観客の経験戦略全体像

全体計画の時期に合わせた3段階の取り組み



リスクの軽減

現時点での運営面での観客のメジャーリスク



Tokyo 2020としてのリスク軽減の取り組み

➤これらの重要なリスクに対し、WGを立ち上げ対応の検討を開始

ご相談事項①スポーツ教育の促進

<現状考えている方向性>

■好きなスポーツや住んでいる地域に合わせて

参加できるイベントの情報や競技に関するニュースを配信する仕組みを作る

■街中でより多くの人が実際に競技を体験できるイベントを継続的に開催する

<ご意見を頂きたい点>

スポーツ教育という視点で、過去の経験や、日々競技普及にも関わりのある委員の皆さまからアイデアやご意見があれば教えていただきたい。

ご相談事項②大会中のスポーツ体験について



観客のより良い経験の為、大会中、会場内外で競技を体験する/競技について学ぶコンテンツの企画をIF/NFやSPT FA、開催都市と連携し進めていきたいと思っている。

<ご意見を頂きたい点>

様々な国際大会に参加したり関わっていく中で、印象に残ったコンテンツがあれば教えていただきたい。その他大会中のスポーツ体験についてご意見などがあれば幅広くいただきたい。

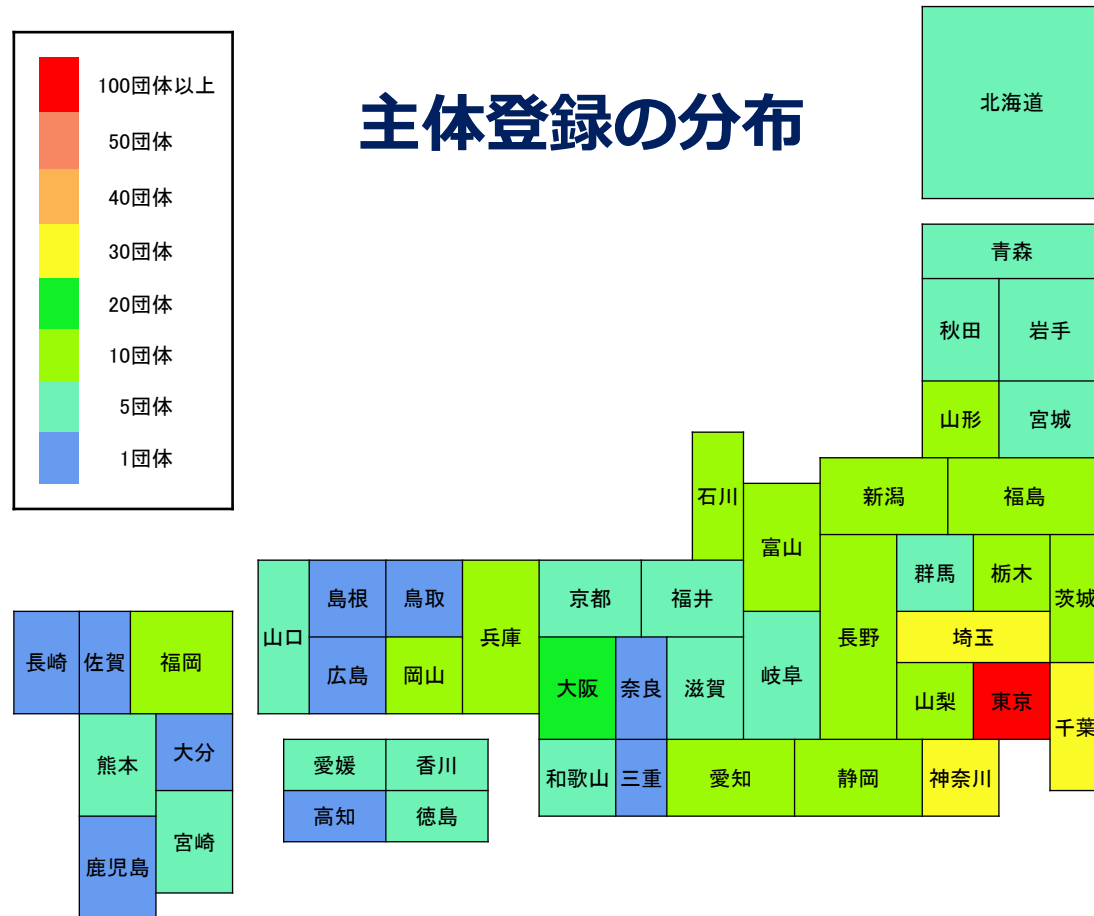
東京2020参画プログラムの現状について

目次

1. オールジャパンでの参画状況
2. 参画プログラムの更なる活性化に向けて
3. 東京2020主催アクション（マスコット投票、メダルプロジェクト、文化オリンピックアードナイト）
4. アクション事例（スポーツ・健康）
5. 東京2020 Nipponフェスティバル

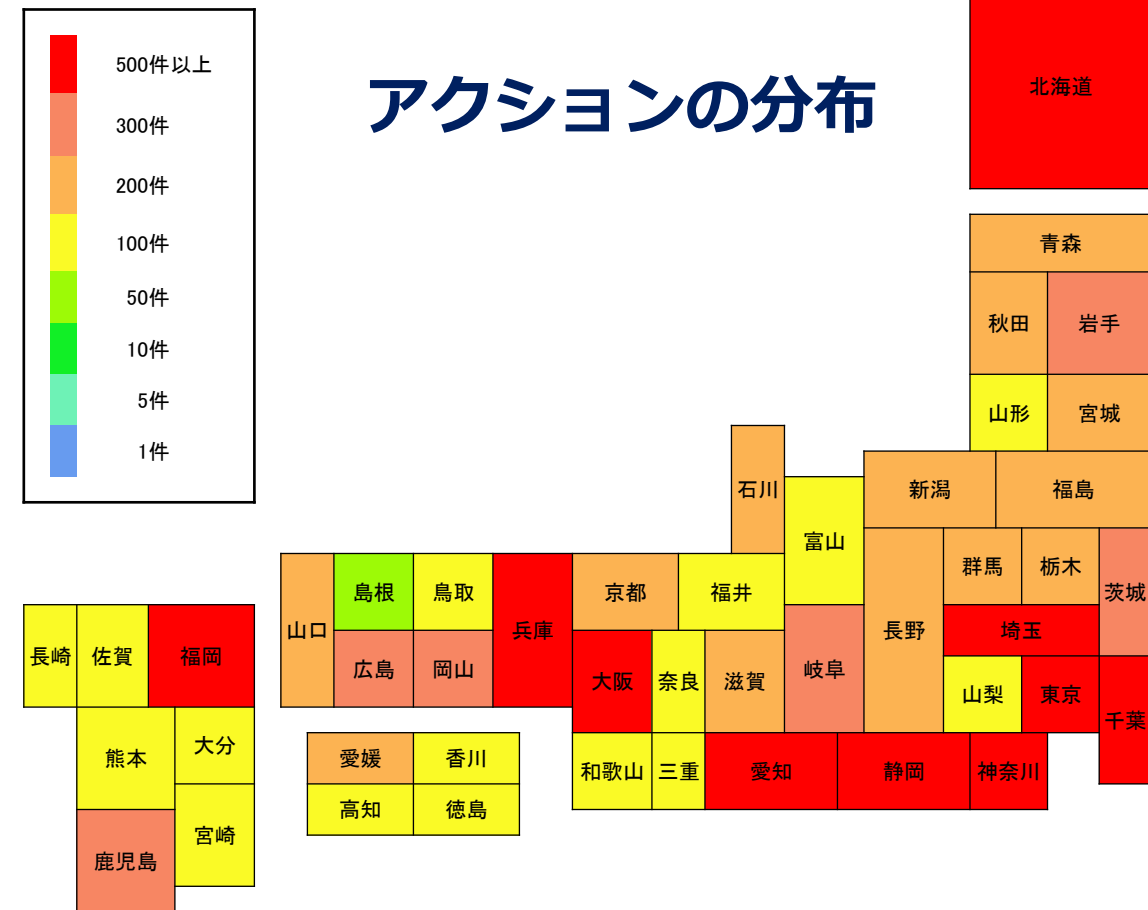
1. オールジャパンでの参画状況①

- 2018年1月10時点で、**1,000団体以上**が主体登録を実施し、**約2万件のアクション**を認証
- 全ての都道府県から主体登録※があり、全国へと広がる認証アクションへの参加人数は**1千万人**



沖縄

※都道府県に所在する団体からの主体登録

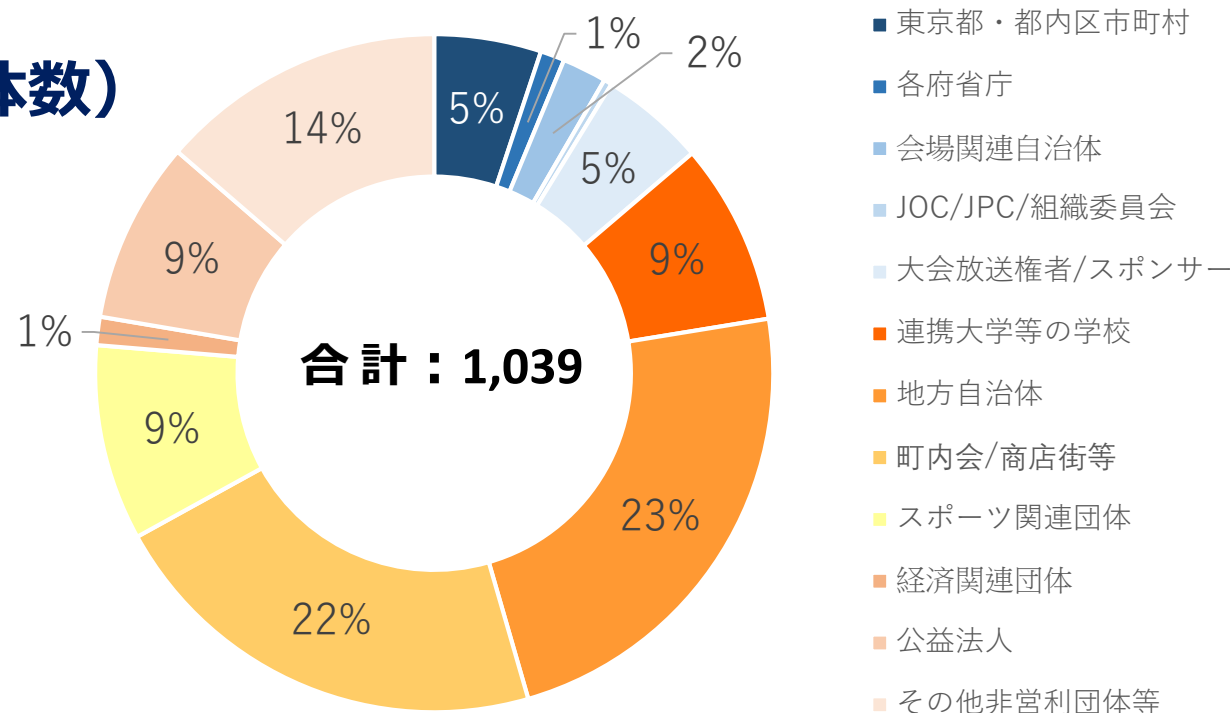


沖縄

1. オールジャパンでの参画状況②

- 応援プログラムの本格開始後（2017年7月～）、全国の市町村や町内会等からの主体登録数が拡大
- よういドン！スクールについても、開催都市、会場関連自治体のみならず全国へ拡大中
（1月10日時点の認証校数： **4,589校**）

主体登録数（団体数）



※各データは2018年1月10日時点の認証数

2. 参画プログラムの更なる活性化に向けて①

■ホストタウンの活動の参画プログラム化

- ホストタウンに登録された自治体に、より東京2020大会とのつながりを持ちながら事業を推進してもらえるよう、内閣官房にてホストタウンに登録された自治体による要件を満たすイベント・事業を「**ホストタウンアクション**」として、**東京2020参画プログラムに認証**

例) 大会等に参加するために来日する選手等との交流

日本人オリンピック又はパラリンピアンとの交流

相手国との文化的交流を図り、地域の活性化を推進するイベント 等

- **ホストタウンアクションに作成された参画プログラムマーク**を提供



マスコット小学生投票

マスコット最終候補 3 案

ア



イ



ウ



12/7 発表会の様子



- 2017年12月7日、渋谷区の加計塚小学校において、マスコットの最終候補案 3 案を発表
- 発表された 3 案については、12月1日のマスコット審査会において制作過程の確認及び国内・国際商標調査がすべて完了したものであるとして、承認を得たもの

3. 東京2020主催アクション① (マスコット投票)

大会とつながる

- 2017年12月11日より、全国の小学校の各クラスを舞台としたマスコット小学生投票がスタート。投票は2018年2月22日まで実施し、2月28日に投票結果を発表予定。正式発表は8月頃予定。
- 各小学校の現状の参加状況 (2018/1/22時点)

13,985校が事前登録 (全国約2万1千校の小学校のうち、66%)

5,141校、60,105学級が投票済

195自治体が投票宣言を実施



東京都飛田給小学校の様子



東京都けやきの森小学校の様子



福島県吉井田小学校の様子

マスコット投票公開授業事例

日時：1月22日（月）4時間目に授業を行い、オリンピック給食で児童とアスリートが交流した。

※都小学校では月に1度、オリンピック・パラリンピック関係国の給食を提供

場所：千葉市立都（みやこ）小学校

概要：

- ・アスリート委員会 田口委員（パラリンピアン）、組織委員会職員 伊藤華英（オリンピック）が、オリンピック・パラリンピックについて全校生徒に語るとともに、マスコット公開授業にも参加。
- ・マスコット投票期間終了まで残り1カ月間の1月22日（月）、本公開授業を実施し、メディアを通じて全国に更なる投票への参加を呼び掛けた。



3. 東京2020主催アクション② (メダルプロジェクト)

大会とつながる

持続
可能性

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト



プロジェクトの現状

回収拠点と実績 (2017年4-10月累計)

NTTドコモ：約**178万台の携帯電話等** (全国約2,400店舗のドコモショップ)

自治体：約**1874トンの小型家電** (全国1262自治体、全国累計6023か所)

- オリンピック・パラリンピック大会史上初の取り組みとして国内外で反響
- 2017年4月の開始以降、参加自治体数も順調に増加、全自治体の約7割が参加
- 回収は概ね想定どおり
- 今後の対応として、引き続きプロジェクトの周知・PR活動を行うとともに
銀をより多く含むPCなどの回収強化にも取り組んでいく

4. アクション事例 都内自治体

スポーツ
健康

スポーツ de 障がい者交流会2017

■日時： 2017年11月3日（金・祝）

■主催： 目黒区

■会場： 目黒区立中央体育館

■内容：

障害者がスポーツの楽しさを体験できる場を提供することにより、障害者スポーツの促進と発展を目指し、合わせて多様な交流も図ることを目的とする。

■参加者の声：

普段こんな障がい者の人々と一緒に何かをする機会がなかったので、自分の中でちょっとした偏見があった。今回の交流会でその偏見がなくなってとても楽しかった。



4. アクション事例 東京以外の自治体

スポーツ
健康

車いすカーリング教室（ちゃれんじ☆車いすカーリング）

- 日時： 2017年9月24日（日）
- 主催： 札幌市
- 会場： 札幌市カーリング場

■内容：
冬季パラリンピックの正式種目である車いすカーリングの体験教室を開催。幅広く車いすカーリングに興味のある方を対象とする。ルール説明や基本練習の後試合を行い、競技自体の楽しさを感じてもらう。

■取組の成果：
参加者個人の世界の広がりだけでなく、競技者としての可能性も含め、障がいのある方の新たな経験を増やすきっかけとなる体験教室となった。



4. アクション事例 競技団体

スポーツ
健康

エアースカッシュコートであそぼう（スカッシュ体験教室）

■日時： 2018年01月1～3日（月火水）

■主催： 公益社団法人日本スカッシュ協会

■会場： 帝国ホテル2F孔雀西の間

■内容：

空気で膨らました仮設のミニスカッシュコートにて一人5分でスカッシュを体験した。

■取組の成果：

どなたでも、初めての方がスポーツの楽しさを体験できる場を提供することにより、日本全国で多くの人々に競技内容を広く理解してもらう取組。合わせて多様な交流も図ること。親子や兄弟で楽しむ方も多く見受けられた。



4. アクション事例 連携大学

スポーツ
健康

Hanada Athletic Trainer Symposium ～アスリートを支えるプロフェッショナルの流儀～

- 日時： 2017年10月29日（日）
- 主催： 東京有明医療大学
- 会場： 同大学内
- 内容：
アスレティックトレーナーとして活躍する先生が、「将来、スポーツの仕事をしてみたい」と考えている若者達に向け、「現在の活動」や、「どうやって現在の仕事に関わるようになったのか」、そして「夢を叶えるにはどうしたらよいのか」などを講演。
- 取組の成果：
本シンポジウムは将来トレーナーを目指す若者へ、トレーナー活動を活動を行う上で大事なことを伝えることができ、アスリートが活躍する社会の実現に繋がる取り組みとなった。流会でその偏見がなくなるととても楽しかった。



4. アクション事例 大会パートナー企業

スポーツ
健康

新宿ユニバーサルフェスタ-みんなのチャレンジ！-

■日時： 2017年11月17・18日

■主催： 東京ガス株式会社

■会場： 新宿パークタワー

■内容：

参加者、アスリート、企業が一緒になって様々なフィールドにチャレンジすることで、ユニバーサル社会の実現へ向けたひとりひとりのチャレンジ・アクションへのつながっていく、オリンピック・パラリンピックの1000日前のイベント。

■取組の成果：

ユニバーサルをテーマにした暮らし（衣・食・住）、企業の実践、スポーツ等を、校外授業として訪れた小学生や来場いただいたお客さまに体験・ご見学頂きました。

ご来場いただいた2500名あまりの方々に、共生社会に向けて考えていただくきっかけをご提供することができました。





5. 東京2020 Nipponフェスティバルについて

東京2020大会におけるフェスティバルの位置づけ

2017年

2020年4月頃

7月24日～

東京2020大会の一つの大きな流れ

参画プログラムによる
大会に向けた機運醸成



東京2020 Nipponフェスティバル
の展開

- ・大会の盛り上げを最大化
- ・歴史に残るプロジェクト
- ・様々なステークホルダーの参画
- ・国内外への発信



聖火リレー

東京2020大会
開会式
閉会式

4つの物語①：聖火リレーとともに始まる祝祭感 - キックオフ -

文化の祭典でもあるオリンピック・パラリンピック

聖火とともに祝祭感あふれるプログラムを
オールジャパンで展開
～都道府県とも連携し、全国で実施～



2020年、
私たちの文化で世界を驚かそう。



様々な背景を持つ人々が交じり合い 分け隔てのない社会を目指す

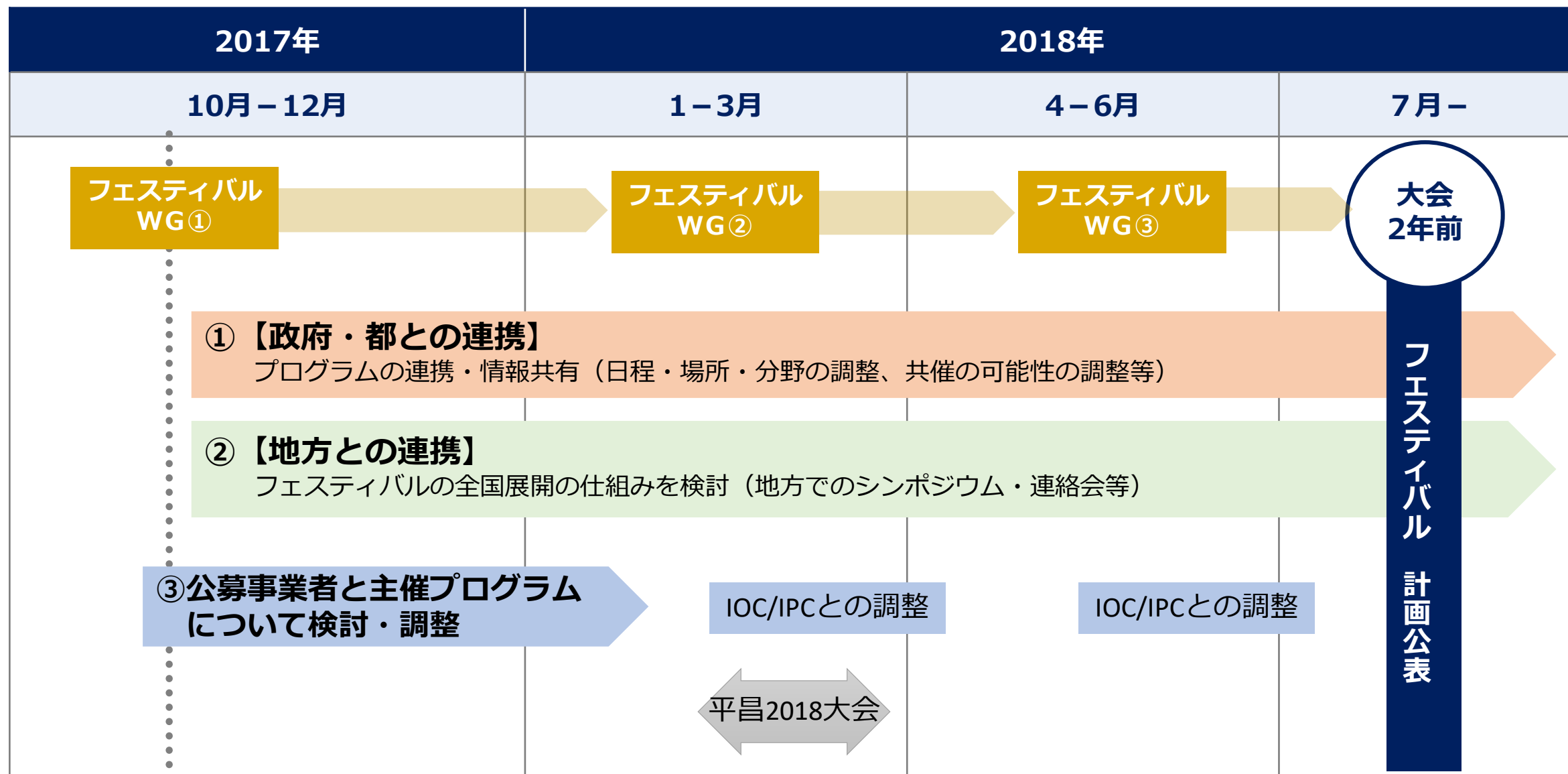


4つの物語④：誰もが参画できるフェスティバル

東京にいなくても オリンピック・パラリンピックに参画できる 全員が日本代表



検討スケジュール



東京2020大会の準備状況について

目次

1. ONE TEAM PROJECT
2. 日本の木材活用リレー
3. Tokyo 2020 1000 Days to Go!
4. 開会式・閉会式
5. IOC調整委員会公式夕食会（被災地の食材利用）
6. 平昌2018大会期間中の主な広報活動
7. Road to Tokyo 2020

1. ONE TEAM PROJECT

ONE TEAM PROJECT

日本を代表するクリエイター&イノベーターが一丸となって
東京2020大会を盛り上げるプロジェクト

■ 8月24日より始動、第1弾コンテンツは市川海老蔵氏による「東京2020三年前口上」動画

- ・ 海老蔵氏にご自身のブログでご紹介いただいたこともあり、公開から3日でYouTube再生回数が20万回突破
- ・ 公開翌日はYouTube日本の急上昇ランキングで全動画中**1位を獲得**
- ・ 蜷川実花理事によるSPECIAL PHOTOも話題化を増幅させ、テレビやスポーツ紙および多数Webメディアが紹介



Photo by Mika Ninagawa

- 第2弾：野村萬斎氏と清水希容選手による対談動画を公開
- 第3弾：YOSHIKI氏と山中伸弥氏による対談動画を公開
- 第4弾：高橋陽一氏への特別インタビューを公開
- 第5弾：野老朝雄氏と松井冬子氏による対談動画を公開
- 第6弾：林真理子氏のエッセーを鈴木亮平氏が朗読
- 第7弾：ISSで活躍中の宇宙飛行士金井宣茂氏による宇宙からのメッセージ（予定）

2. 日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～

- 全国の自治体から借り受けた木材を使用してビレッジプラザを建設し、大会後に解体された木材を各自治体の公共施設などでレガシーとして活用するプロジェクトを実施



42事業協力者（63自治体）を決定



選手村ビレッジプラザの外観イメージ(上記イメージは、計画途中のものであり、今後変更となる可能性があります)

3. Tokyo 2020 1000 Days to Go!

オリンピック1000日前イベント (10/28)



オープニングを飾る山車の練り歩き (地元町会)

カウントダウン・デーカウンター

パラリンピック1000日前イベント (11/29)



東京スカイツリー®と山車のフォトセッション



セレモニー

1000日前関連イベント(10/28-11/29)

◆ NHK大阪放送局「千日前でわろてんかギャグ1000発やりなはれ！」



大阪 千日前商店街の看板



イベント風景

(写真提供：NHK)

◆ 東京2020公認プログラム「ふくしまアイデアコンテスト」



「ふくしまアイデアコンテスト」の参加者



参加者の学生と審査員のなすびさん

その他、都内区市町村や全国自治体そしてパートナー企業
メディア各社等と連携した様々なイベントを展開！！

4. 開会式・閉会式

1. 基本コンセプト

東京2020大会開会式・閉会式に関する基本コンセプト最終報告

第一章 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の位置づけ

歴史的意義	大会全体の歴史的・社会的意義	社会的意義
東京1964大会は戦後復興の象徴や経済成長や科学技術の発展の契機となり、経済的・物量的に豊かになり、また、障がいのある人のスポーツを通じた社会参加を促すきっかけとなった。 東京2020大会では、50年後、100年後に振り返った際に、心が豊かな幸せな社会、持続可能な社会の実現に向けて、文化や社会、価値観が変わる契機となることが求められている。		世界は今、経済や文化、政治などあらゆる面で分断が進んでいる。オリンピック・パラリンピックの意義に立ち返り、東京2020大会では、国籍や民族などのナショナリズムを超え、障がいの有無にかかわらず、若者を含め皆の参加意識を高め、一体感を醸成することで、世界平和を祈り貢献し続けていくことを目指す。また、アジアの発展と繁栄のために、世界にメッセージを発信していく。

大会ビジョン

スポーツには世界と未来を変える力がある。
1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、
「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、
「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、
「そして、未来につなげよう（未来への継承）」
を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

4. 開会式・閉会式

1. 基本コンセプト

第二章 開会式・閉会式の全体コンセプト

【平和】和を尊ぶ考え方が、分断や対立を超えた世界につながることを示す。

- 世界中の国・地域のアスリートと観客が一堂に集い、分断や対立を超える機会とする。
- 各々の価値観を押し付けることなく、互いに尊重し合うことで調和を図り、積極的に平和をつくり上げていく姿勢を示す。

【共生】多様な違いを認め合い、支え合い、活かし合うことで、新しい価値を生み出す共生社会を目指すことを示す。

- 一人ひとりが異なる存在であり、お互いを認め合い、支え合う寛容さを持つことが、大切であることを示す。
- 異なる存在が交流し、互いに活かし合うことで、新たな価値が生まれ、よりよい社会につなげていく。

【復興】自然災害を乗り越え、諦めることなく次代を創ろうとする姿を示し、世界の人々への勇気へとつなげる。

- 人間も自然の一部であるという考えに立ち、自然に対する畏敬の念を大切にする。
- 繰り返し訪れる自然災害から復興していく過程において、よりよい社会を創ろうとする人間の強さを示し、世界中の被災者の方々へ勇気を伝播する。

【未来】持続可能で、人間性豊かな、新しい時代のスタートラインとする。

- これから100年の視野を持って、世界中の若者に未来への夢と希望を抱かせるまたとない機会である。
- 地球という限られた環境の中で、「和」の精神に基づき、自然や人間社会がバランスをとり、共存していく時代のはじまりを示す。

【日本・東京】歴史の中で培われ、今も生きる日本・東京の美しい感性を大切にする。

- 日本・東京が過去から現代に引き継いできた、しなやかさや美しさを大切にして表現に活かす。
- 日本国内からの視点だけではなく、海外からの視点も取り入れ、世界の人々が日本を楽しむことができるようにする。

【アスリート】スポーツの祭典として、主役のアスリートが安心して参加できる式典を目指す。

- 式典の主役はアスリート。開会式は世界中のアスリートを歓迎、鼓舞し、閉会式は競技を終えたアスリートの健闘を称え、国を超えた交流の輪が広がる場とする。
- アスリートが安心して開会式・閉会式に参加できるよう、空間的、時間的にもコンパクトな式典運営を心がける。

4. 開会式・閉会式

1. 基本コンセプト

第二章 開会式・閉会式の全体コンセプト（つづき）

【参画】多くの人が自分も式典に関わっていると感じられるような、みんなでつくる式典を目指す。

- 多くの人が、式典づくりやパフォーマンスに参加できる機会をつくることで、多くの交流を生み出す。
- スタジアム内だけで完結させず、テクノロジーなどを活用して、より多くの人が関わることができる仕組みをつくる。

【ワクワク感・ドキドキ感】熱気や興奮が感じられ、一生に一度の体験となるような機会とする。

- メッセージを大切にしながら、観客や視聴者に興奮や驚きを提供する。
- 日本や世界の子どもたちをはじめ、人々の記憶に残る開会式・閉会式を目指す。

第三章 4式典の位置付け

4つの式典を一連の四部作と捉え、起承転結となるよう、メリハリを付けて構成する。

（起）オリンピック開会式

- ・東京2020大会の幕開けの式典として4つの式典の扉とする。
- ・国内外からの注目度が最も高い式典であり、世界から集うアスリートや観客を歓待する。
- ・大会の歴史的意義や社会的意義、招致時のコンセプトも活かしていく。

（承）オリンピック閉会式

- ・競技を終えたアスリートの健闘を称える。
- ・アスリートだけでなく観客も巻き込み、会場を一体化する。
- ・その熱気と興奮を、続いて開催されるパラリンピックへと引き継ぐ。
- ・次の世代に受け継いでいくべき価値を示す。

（転）パラリンピック開会式

- ・東京は二度目の夏季パラリンピックを開催する史上初の都市である。
- ・互いに認め合い、助け合う共生社会を目指すことを世界に伝える。
- ・多様なものを様々にかけ合わせることで、既成概念を超えた新しい可能性を探り、人々の意識を変えるきっかけにする。

（結）パラリンピック閉会式

- ・東京2020大会の全体を締めくくるフィナーレである。
- ・持続可能な社会に向けて、「和」の精神に基づき、自然や人間社会がバランスをとり、共存していく新しい時代のスタートラインとする。
- ・世界の調和と明るい未来への可能性を示し、子どもたちや若い世代への継承の場とする。

4. 開会式・閉会式

「東京2020 開会式・閉会式 4式典総合プランニングチーム」について

- 今般の基本コンセプトにある“4式典を一体と捉えた”基本プランを作成していくため、「東京2020 開会式・閉会式 4式典総合プランニングチーム」を設置。
- まずは基本プランを策定した上で、来夏に4式典の監督を選定し、各々制作に入っていく。

1. 基本的な考え方

- 基本コンセプトにおいて、オリンピック開会式からパラリンピック閉会式までの4つの式典を、バラバラではなく、一連の四部作ととらえていくとの方針が盛り込まれた。
- まずは、この4式典全体のプラン・ストーリーを作る体制を立ち上げることとしたい。
- その際、一個人に頼るのではなく、チームでの力を活かすとともに2020年以降も世界で活躍する世代を積極的に活用していきたい。
- 上記の考えのもと、以下の観点でチームの人選を進めた。
 - 4式典全体のプランを作り上げていくに当たり、式典が舞台的要素だけでなく、世界中にテレビ・WEBを通じて放映されることから、映画制作に携わり、映像とストーリーを統合できる人材が必要ではないか。
 - 基本コンセプトにある日本・東京の伝統を演出できる人材、また、共生・パラリンピックを表現できる人材が必要ではないか。
 - 内外の評判を得たリオ大会のハンドオーバーのチームの知見も活用すべきではないか。
- 4式典の監督選定に先立ち、総合プランニングチームを立ち上げるのは、東京2020大会ならではの新しい試み。

4. 開会式・閉会式

2 チーム編成

次ページ参照

3 役割

以下の事項について検討し、基本プランとしてとりまとめるとともに、4式典の一体化を図る。

- (1) 4式典全体で発信するメッセージ・ストーリー
- (2) 各式典それぞれで展開するメッセージ

4 期間

2017年12月～

5 今後のスケジュール

- ・ 2018年夏ごろを目途に、基本プランをとりまとめ、その後各式典の監督を選任する予定。
- ・ 監督は、有識者懇談会及び理事会での審議を経て決定する。

4. 開会式・閉会式

東京2020 開会式・閉会式 4式典総合プランニングチーム 名簿 (平成29年12月20日時点) (五十音順、敬称略)

氏 名	肩書等
川村 元気	映画プロデューサー/小説家
栗栖 良依	クリエイティブ プロデューサー クリエイティブ ディレクター
佐々木 宏	クリエイティブ ディレクター
椎名 林檎	演出家 音楽家
菅野 薫	クリエイティブ ディレクター クリエイティブ テクノロジスト
野村 萬斎	狂言師
MIKIKO	演出振付家
山崎 貴	映画監督

5. IOC調整委員会公式夕食会（被災地の食材利用）

- 第5回IOC調整委員会の公式夕食会（復興庁、東京都共催）で、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島食材を使用したメニューや地酒などの特産品を提供。
- 東京2020大会に関連する会議やイベントなどで、風評被害の払拭につながる取組を進め、復興に関する継続的な支援につなげていく。



6. 平昌2018大会期間中の主な広報活動

平昌現地 -Tokyo 2020 JAPAN HOUSE-

- 目的： 平昌2018大会時に、現地および世界中のオリンピック、パラリンピックファンに東京2020大会及び開催都市東京の魅力を伝え、2020年大会時の訪日促進につなげるため、Tokyo 2020 JAPAN HOUSEを設置する。
- 主催： 東京2020組織委員会、東京都
- 場所： 江陵オリンピックパーク内に仮設建物を設置
* 平昌地域には、JOCがホスピタリティ提供を主目的としたJAPAN HOUSEを別途設置
- 期間： オリンピック期間 平成30年2月9日から25日、
パラリンピック期間 平成30年3月9日から18日を想定
※メディア内覧会は平成30年2月8日の実施を検討
＜開設時間＞ 12:00～20:00（予定）

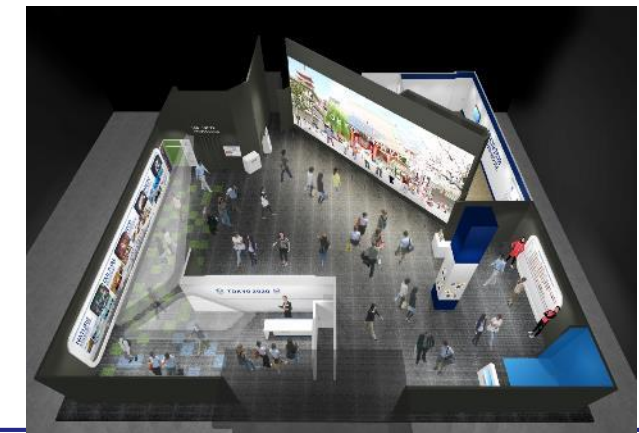
(別会場メインプレスセンター内に東京2020広報オフィスを設置し海外PR)

PyeongChang to TOKYO

つぎは東京!



外観図



内観図
(俯瞰図)

6. 平昌2018大会期間中の主な広報活動

国内 -東京 2020 ライブサイト in 2018 -

- 目的： 東京2020大会におけるライブサイトの実施に向けて、運営・実施方法などの課題への対応を検証するとともに、東京2020大会の機運醸成を図ることを目的として、平昌2018冬季大会の開催とあわせてライブサイトを実施

- 主催： 東京2020組織委員会・東京都

- 実施概要：



リオ2016大会時の国内ライブサイトの様子

オリンピック期間					パラリンピック期間	
2/10 (土) ~ 2/12 (月・祝)	2/17 (土)	2/18 (日)	2/22 (木) ~ 2/24 (土)	2/24 (土)	3/10 (土)	3/17 (土) 3/18 (日)
東京都 井の頭恩賜公園	宮城県 JR仙台駅 2 階 セントゲラス前	福島県 郡山駅 西口駅前広場	東京都 シンボルプロム ナード公園	岩手県 盛岡駅前 滝の広場	熊本県 (仮称)花畑広場	東京都 日比谷公園
開場時間：10:00～17:00（予定）						

- アスリート委員の出演 2/10 河合副委員長、2/12田口委員、2/22池田委員

「東京2020ライブサイトin2018」に関するお願い

① 以下の投稿例をご参考にしていただき、ご自身のSNSアカウントから、ライブサイト開催の周知にご協力をお願いいたします。

② Tokyo 2020が発信するライブサイトに関する投稿について、シェア・リツイートによる拡散のご協力をお願いいたします。



案 日本語

【告知投稿について】

発信いただく際、お伝えいただきたいポイント

- ◎ ライブサイトの概要
- ◎ ライブサイトのページのURL

<https://tokyo2020.jp/jp/special/pyeongchang-to-tokyo/livesites/>

----- 【Facebookの投稿例】

みんなで一緒に平昌2018大会を観戦できる「東京2020ライブサイトin2018」が開催されます。全国各地の会場で、大画面での競技の放送や、アスリートトークショー・アーティストライブ、オリンピック・パラリンピック競技の体験などが行われます。寒い日が続きますが、ライブサイトから熱い応援を平昌2018に届けましょう！開催日、開催場所などの詳細はこちらから

<https://tokyo2020.jp/jp/special/pyeongchang-to-tokyo/livesites/>



案 日本語

【告知投稿について】

発信いただく際、お伝えいただきたいポイント

- ◎ ライブサイトの概要
- ◎ ライブサイトのページのURL

<https://tokyo2020.jp/jp/special/pyeongchang-to-tokyo/livesites/>

投稿を紹介させていただく場合があるため、以下のハッシュタグの挿入にもご協力ください。

#Tokyo2020 #ライブサイト #平昌2018 など

※ハッシュタグは、#の前と単語の後に半角スペースの入力が必要です。

※文字数が超過してしまう場合には **#ライブサイト** を優先して入れてください。

----- 【Twitterの投稿例】

みんなで **#平昌2018** を観戦できる「**#Tokyo2020 #ライブサイト in2018**」を開催。全国各地の会場で、大画面での競技の放送や、アスリートトークショー・アーティストライブなどが行われます。ライブサイトから熱い応援を平昌に届けましょう！開催日、会場の詳細はこちら

<https://tokyo2020.jp/jp/special/pyeongchang-to-tokyo/livesites/>

平昌オリンピック聖火リレー

平昌2018大会から東京2020大会へ盛り上げをつなげるために、及川晋平委員が聖火ランナーとして参加します。

走行日時：2月8日（木） 詳細未定

走行場所：江陵

当日の様子は、平昌組織委員会HPで中継されます。

平昌オリンピック聖火リレーの概要

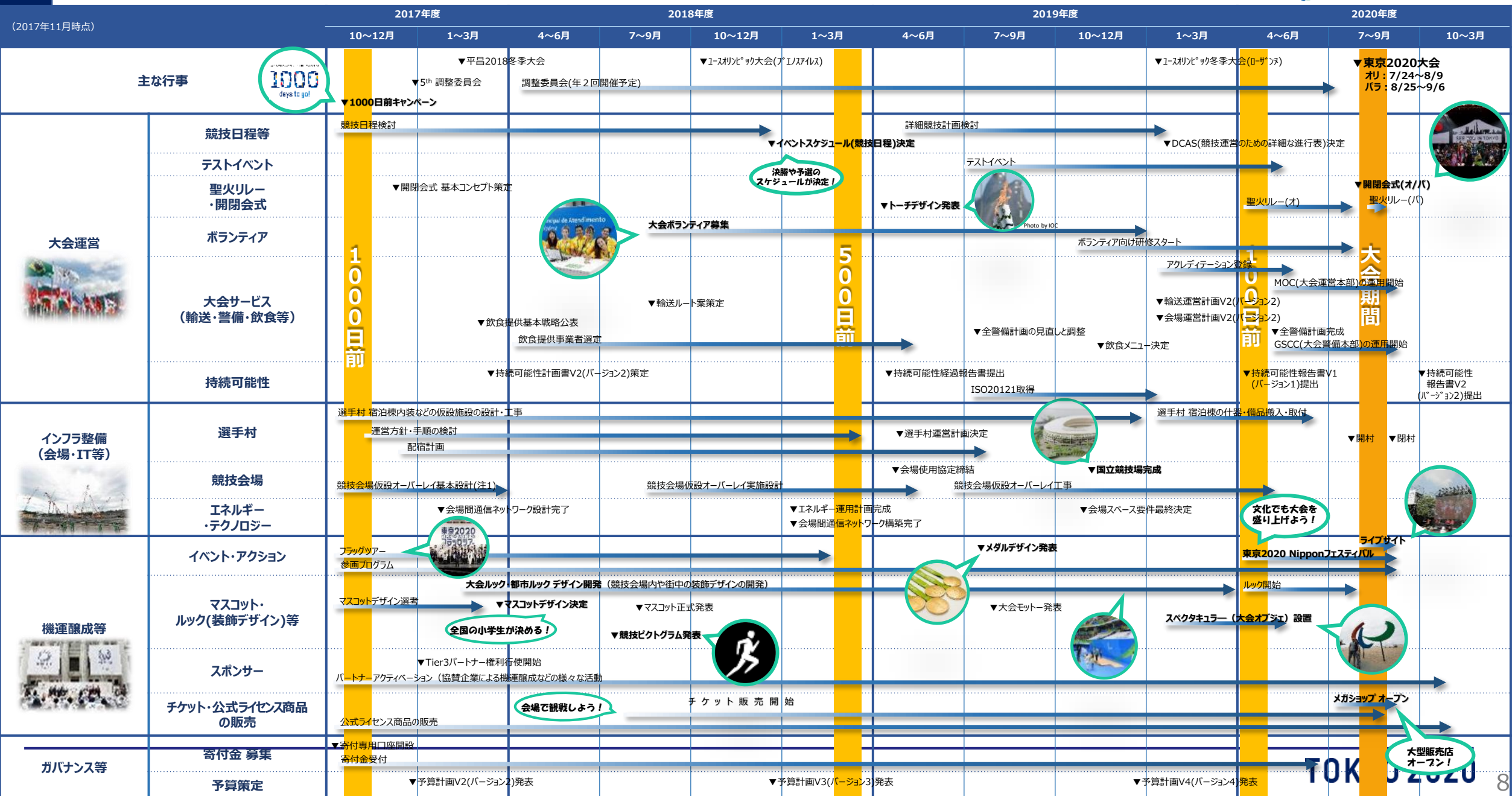
移動距離	2018km
日数	101日（2017.11.1～ 2018.2.9）
ランナー数	7,500人
コンセプト	Let Everyone Shine
ライブ中継	https://www.pyeongchang2018.com/en/torch-relay/torch-relay-live



【聖火リレールート概要図】



7. Road to Tokyo 2020 ~ オールジャパンでの成功に向けて ~



注 1) 仮設オーバーレイとは、会場を大会使用可能な状態にするための仮設の基礎構造・設備、装置、装具及び機器を指す。

※記載のスケジュールは過去大会等を参考にした目安です。